

若年性認知症

3.78万人(2009年)

若年性認知症(または、若年認知症)とは65歳未満で発症した認知症を指します。

病気の内容や症状は高齢者とはかわりませんが、以下のような特徴があり、高齢者の場合とは少しケアの方法が異なります。

一般的に進行が速い

体力があり活動的

就労継続が難しい

年齢にあった介護サービスなどが不足しており、家族がサポートする状況が多いです。家族介護者の約6割の人がうつ傾向があることが指摘されており、家族がサポートを抱え込まないように、病気を理解したり、外部のサポートを利用することが重要です。